

# 大学生現役就職促進プロジェクト (仮称)の推進

# 「大学生現役就職促進プロジェクト」の推進 ～第2のロスジェネ発生の阻止～

平成24年度日本再生重点化措置  
要望額 64億円  
要求額 64億円  
本事業規模 127億円

## < 1 大学生に関わる客観的情勢 > (資料出所) 文部科学省「学校基本調査」

- ① 進学率の向上 (大学・短大進学率)  
平成元年度 30.5% → 平成23年度 54.5% (+24ポイント)
- ② 新規就職者に占める大卒者の比率の上昇  
【平成元年3月卒】大卒1(30万人) : 高卒2(61万人) → 【平成23年3月卒】大卒2(34万人) : 高卒1(16万人)

## < 2 大学生の意識及び就活の現状 >

- ① 依然続く大企業指向 (資料出所) リクルートワークス調査 : 平成24年3卒  
中小企業求人倍率 (300人未満) 3.35倍  
大企業求人倍率 (1000人以上) 0.65倍 (注) 従業員規模別就職希望者数については、大学3年生・大学院1年生の2月の時点での調査に基づき推計したものの。
- ② ネット就活の一般化  
・就職に関する情報の収集が容易になり、企業への応募に係る手間も著しく軽減する一方、次のような事例も発生。  
・100社にネットでエントリーを行ったが内定がまったくもらえない。  
・大学やハローワークの支援を受けず、ネットのみで就職活動を行った結果、不採用に係る問題点の把握・改善がいつまでも行えない。

## < 3 現状を放置した場合 >

フリーター等非正規労働者の増大 (フリーター数 : 平成20年 170万人 → 平成22年 183万人)  
第2のロスジェネレーション発生の懸念

未就職卒業生数	: 平成19年度 7万1千人 → 平成22年度 10万7千人
大学内定率	: 平成19年度 96.9% → 平成22年度 91.0%
大卒求人倍率	: 平成20.3卒 2.14 → 平成24.3卒 1.23

## < 4 今後の対策 >

第二のロスジェネレーションの発生を阻止するため、学生に対するマンツーマン支援の徹底や中小企業への視野の拡大によるミスマッチの解消の促進が急務

→ 大学等とハローワークが連携して「大学生現役就職促進プロジェクト」を実施

目標 : 本プロジェクト事業により 10万人を超える学生等の就職を図る。

- ・ 大学との連携強化による ジョブサポーターの大学への出張相談の恒常化
- ・ 大学から新卒応援ハローワークへ切れ目のない支援を継続するための年度末時点 未内定者の全員登録・ジョブサポーターによる徹底した集中支援
- ・ 求人開拓の強化 (魅力ある求人の開拓、企業の詳細情報の提供)
- ・ 早期に中小企業に視野を広げる 卒業年次前からの企業説明会の開催



ジョブサポーターによる大学への出張相談のイメージ

(参考) ジョブサポーターの支援により、平成22年度(22年9月～23年3月)は59,903人、平成23年度(23年4月～23年9月)は63,028人の就職が決定

# 大学生現役就職促進プロジェクトの取組の流れ

大学3年次

大学4年次

卒業年次（4月～6月）

就職活動の開始

新設

- ① 3年次からの企業説明会の開催（早い段階からの中小企業に向けた視野の拡大）

大幅拡充

- ⑤ 求人開拓の強化（魅力ある求人の開拓、企業の詳細情報の提供）

大幅拡充

- ② 大学への出張相談の恒常化（大学からの強い要望）

新設

- ③ 年度末時点での未内定者の新卒応援HWへの全員登録（大学から新卒応援HWへの支援の移行。切れ目のない支援の継続）

大幅拡充

- ④ 未内定卒業者への集中支援（未就職卒業者一人一人への担当ジョブサポーターの配置による個別支援の徹底）

新卒応援ハローワーク等による支援（職業相談、求人情報の提供、セミナー等）

就職

新設

- ⑥ 早期離職・フリーター化防止のための「内定者社会人基礎講座」の全国開催

# 参 考 資 料

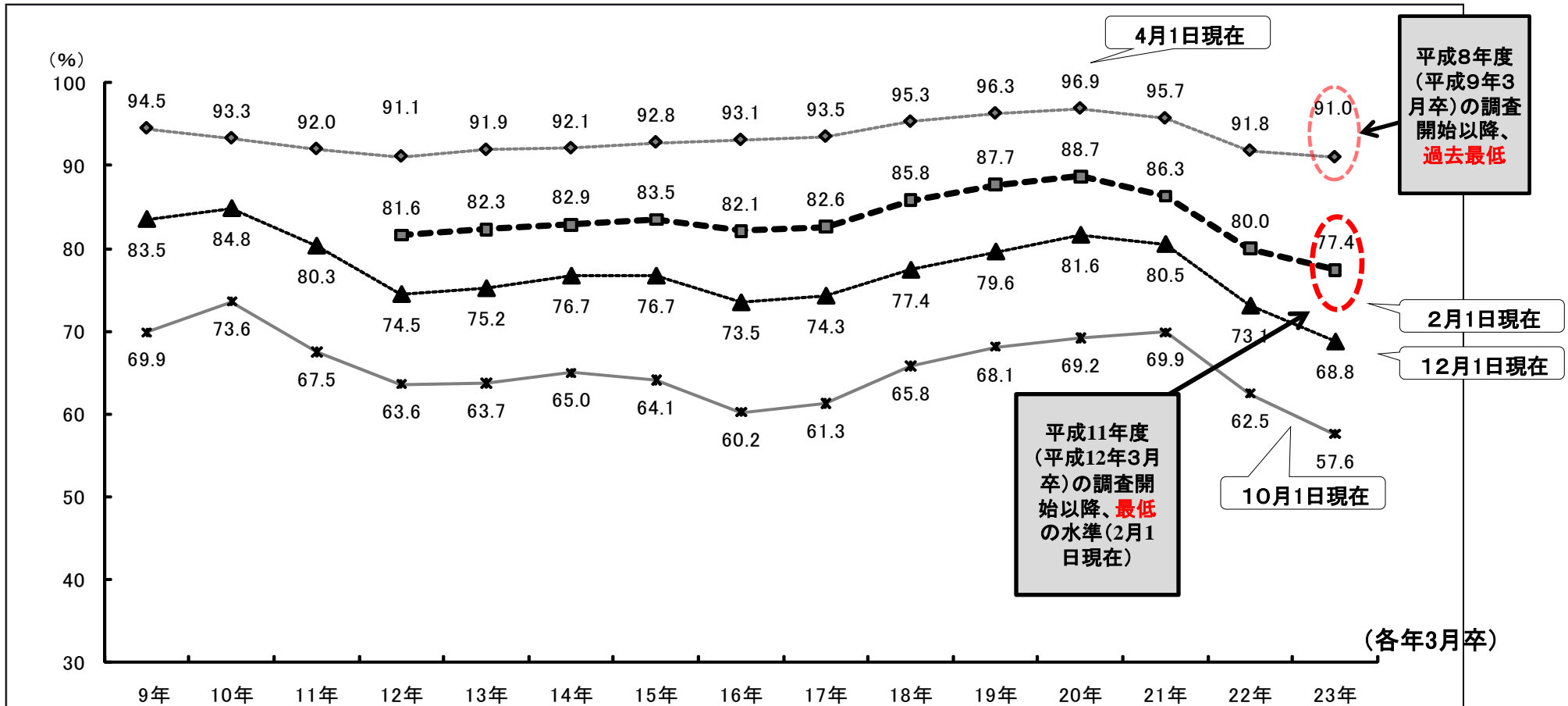
# 新規大学卒業者の就職状況の推移

○ 今春の新規大卒者の就職環境は、厳しい状況（4月1日現在）。

- ・ 就職内定率は91.0%。前年同期差は0.8ポイント減。
- ・ 就職内定者数は33万7千人 前年同期比2.0%減

※ 2月1日からの伸び率は、13.6P増と調査開始以来最大の改善。  
(2月1日現在77.4%、前年同期差2.6P減)

※ 文部科学省「学校基本調査」から推計した卒業予定者数に本調査結果（就職希望率、就職内定率）を乗じて推計した数値



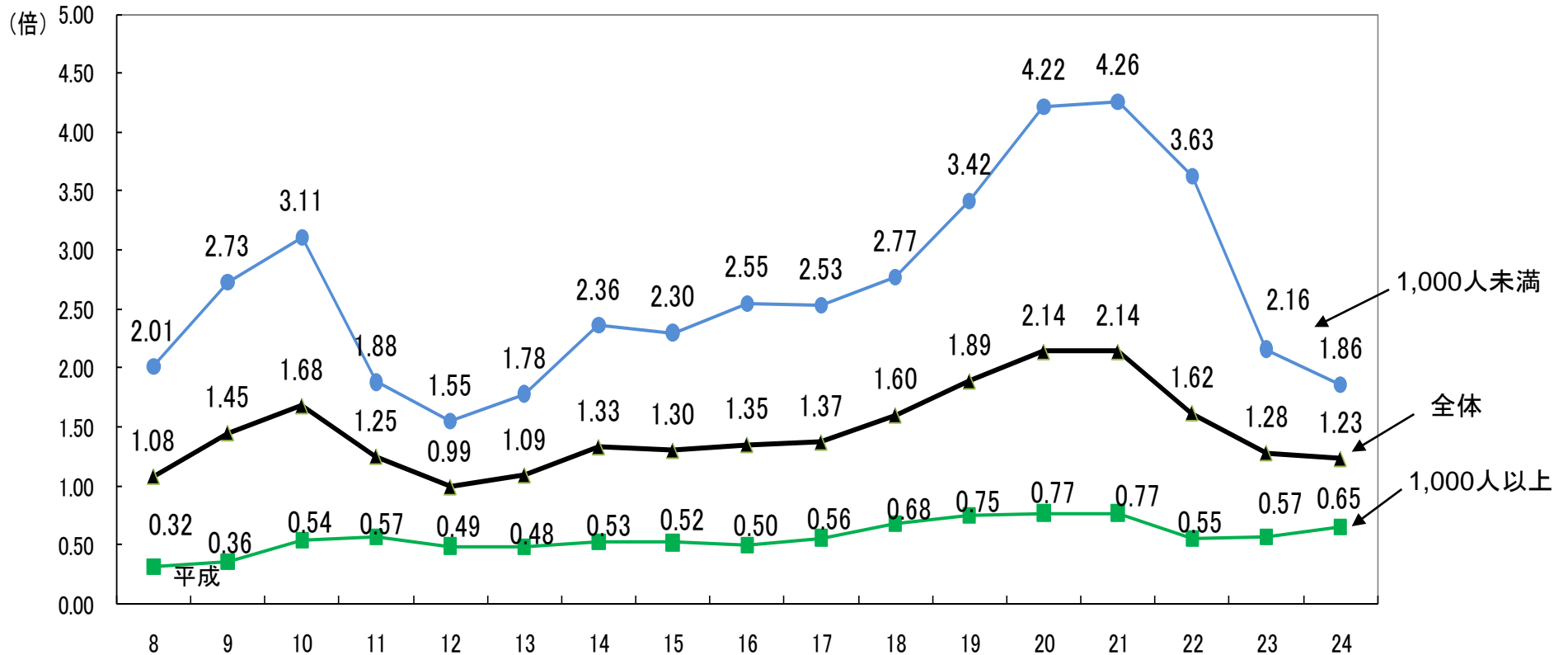
(資料出所)「大学等卒業予定者就職内定状況調査」(厚生労働省・文部科学省)4

(注)内定率とは、就職希望者に占める内定取得者の割合。

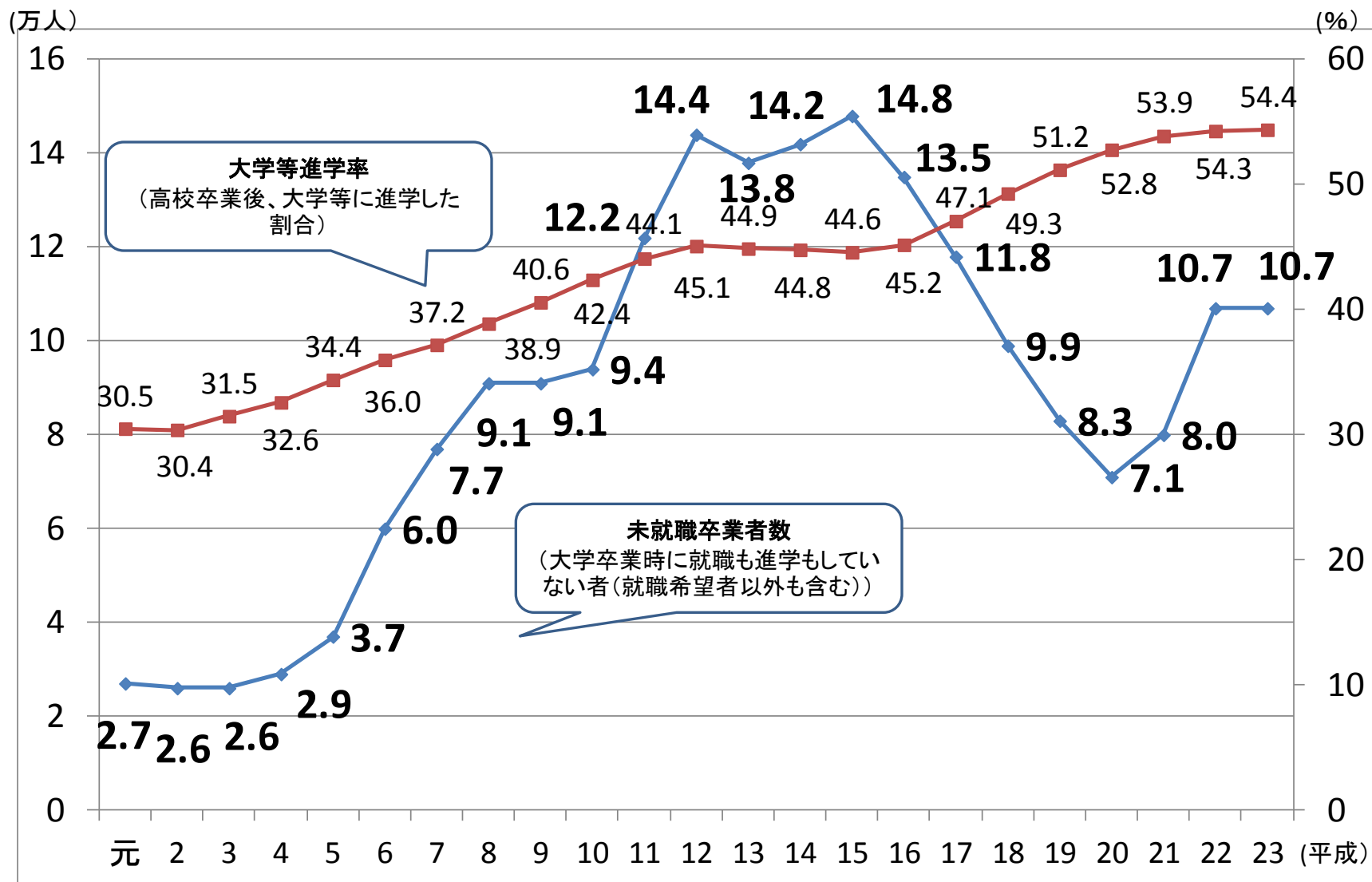
# 大卒求人倍率(規模別)の推移

- 平成24年3月卒業予定の新規大学・大学院卒者の求人倍率は1.23倍と、前年から0.05ポイント低下。
- 従業員1,000人以上の企業の求人倍率は0.65倍、1,000人未満の企業は1.86倍となっており、特に1,000人未満の企業における採用意欲は高い。

従業員規模別大卒求人倍率の推移



# 大学等進学率と未就職卒業生数の推移



【出典】

(各年3月卒)

「学校基本調査」(文部科学省)

※縦軸は、左側が未就職卒業生数、右側が進学率に対応している